



2020年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2020年1月31日

上場会社名 株式会社アバント 上場取引所 東
 コード番号 3836 URL http://www.avantcorp.com/
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 森川 徹治
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当 (氏名) 春日 尚義 (TEL) 03-6388-6739
 四半期報告書提出予定日 2020年2月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年6月期第2四半期の連結業績(2019年7月1日～2019年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		EBITDA※		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年6月期第2四半期	7,734	11.6	1,178	8.0	1,089	7.3	1,093	7.9	673	5.0
2019年6月期第2四半期	6,933	21.9	1,091	48.0	1,015	53.8	1,014	52.7	641	48.4

(注) 包括利益 2020年6月期第2四半期 718百万円(13.7%) 2019年6月期第2四半期 631百万円(45.6%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年6月期第2四半期	17.91	—
2019年6月期第2四半期	17.07	—

※EBITDA (営業利益+減価償却費+のれん償却費)

(注) 2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年6月期第2四半期	9,940	6,350	63.9
2019年6月期	10,415	5,898	56.6

(参考) 自己資本 2020年6月期第2四半期 6,350百万円 2019年6月期 5,898百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年6月期	—	0.00	—	15.00	15.00
2020年6月期	—	0.00	—	—	—
2020年6月期(予想)	—	—	—	9.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。2019年6月期については、当該株式分割前の実際の配当金の額を記載しております。

3. 2020年6月期の連結業績予想(2019年7月1日～2020年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,480	10.0	2,165	10.1	2,165	9.8	1,353	2.7	36.00

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2019年12月1日付で普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。1株当たり当期純利益は、当該株式分割を考慮して算定しております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年6月期2Q	37,586,982株	2019年6月期	37,570,188株
② 期末自己株式数	2020年6月期2Q	2,842株	2019年6月期	2,842株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2020年6月期2Q	37,574,282株	2019年6月期2Q	37,556,560株

(注) 2019年12月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、発行済株式数(普通株式)を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)8ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2019年10月17日付けで譲渡制限付株式報酬として新株式を発行いたしました。当該新株式発行を反映した期中平均株式数を基に1株当たり(予想)当期純利益を算定しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	8
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 四半期連結貸借対照表	9
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	11
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	11
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	12
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(セグメント情報等)	15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（以下「当第2四半期」という。）における連結業績は以下のとおりです。

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
売上高	6,933	7,734	801	11.6
営業利益	1,015	1,089	73	7.3
経常利益	1,014	1,093	79	7.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	641	673	32	5.0

連結売上高に関しては、ビジネス・インテリジェンス事業およびアウトソーシング事業が大幅に伸長するとともに、連結会計関連事業についても、当連結会計年度は収束方向に向かう予定であった大型案件が追加の売上を伴って継続していることなどから、7,734百万円（前年同四半期比11.6%増）と2桁の成長を実現することができました。

2018年9月に発表した中期経営計画において、経営目標のひとつとして掲げたストック売上（例えばソフトウェアの保守料など、継続的に発生する売上）比率の向上については、連結会計関連事業でクラウド売上が増加するなど、成果が出始めている部分がある一方で、ビジネス・インテリジェンス事業を中心にストック型ではない売上が好調であった影響もあり、総額としては前年同四半期比16.1%増となったものの、売上全体に対する比率としては31.9%とほぼ横ばいとなっております。

利益に関しては、競争力を向上するための報酬水準の向上やオフィスの開設・増床などに伴う費用が増加傾向にあります。収益性の高い案件の受注、プロジェクト品質や生産性の向上に努めたことなどにより、営業利益1,089百万円（前年同四半期比7.3%増）、経常利益1,093百万円（前年同四半期比7.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は673百万円（前年同四半期比5.0%増）と増益を達成しました。

各報告セグメントの状況は以下のとおりです。

① 売上高

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	4,008	4,165	156	3.9
ビジネス・ インテリジェンス事業	2,430	2,870	440	18.1
アウトソーシング事業	783	993	210	26.9
セグメント間取引消去	△288	△294	△6	—
連結売上高	6,933	7,734	801	11.6

② 営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期 第2四半期	2020年6月期 第2四半期	前年同四半期比	
			増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	607	709	102	16.9
ビジネス・ インテリジェンス事業	313	352	38	12.5
アウトソーシング事業	202	234	32	16.1
全社費用及び当社と セグメントとの取引消去等	△107	△207	△100	—
連結営業利益	1,015	1,089	73	7.3

連結会計関連事業については、期初の段階では前連結会計年度まで大きく売上に貢献していた大型案件が収束方向に向かうと想定しておりましたが、当連結会計年度についても追加の売上を伴って継続しております。大型案件以外の売上も堅調に推移しているため、売上高は4,165百万円（前年同四半期比3.9%増）と増収を実現しました。また、人員増による人件費の増加やオフィスの新設・改修に伴う費用増加など、費用面の負担は増加している一方で、プロジェクト品質や生産性の向上に努めた成果として全体の収益性は改善することができました。これらの結果、営業利益は709百万円（前年同四半期比16.9%増）と増益になっております。なお、第1四半期に計上を見送った従業員の業績連動賞与に対する賞与引当金は当第2四半期において計上しております。

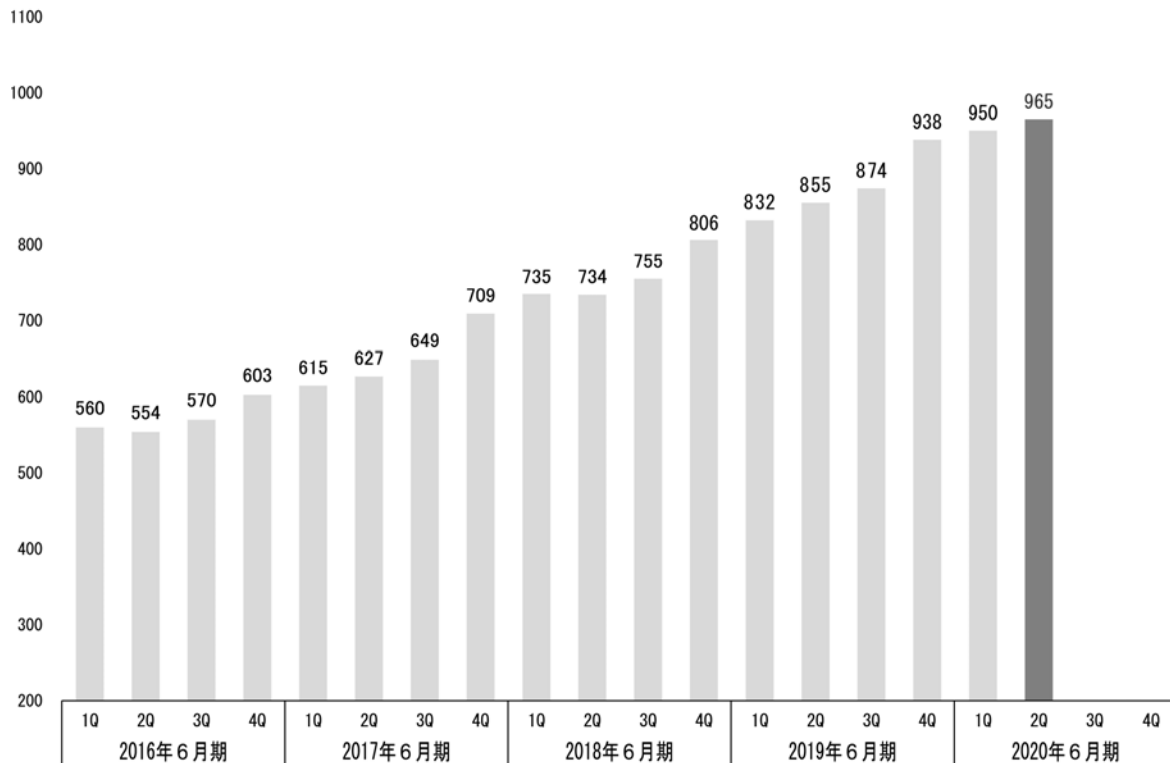
ビジネス・インテリジェンス事業については、デジタルトランスフォーメーション推進の一環として、企業の経営情報の可視化への投資意欲が旺盛な市場動向が継続しており、売上高は2,870百万円（前年同四半期比18.1%増）と大幅に増加しました。報酬水準の向上や人員増加に伴う人件費増加および新オフィスの開設に係る費用の増加などの影響から収益性は若干低下しましたが、営業利益352百万円（前年同四半期比12.5%増）と、増益を実現しております。

アウトソーシング事業については、グループ・ガバナンス・システムの強化・検討やそれに伴う経理部門の役割の見直しなどを背景に需要が旺盛な状況が継続しており、さらには資金管理などの連結決算・開示以外の分野に関する売上も増加した結果、売上高は993百万円（前年同四半期比26.9%増）と大幅な増収となりました。収益性の面では、人員増加に伴うオフィスの増床などの費用増による低下は見られるものの、営業利益も234百万円（前年同四半期比16.1%増）と、増益を実現しております。

なお、連結従業員数は当第2四半期末で965名となり、期初から27名増加しております。

当社グループ従業員数の四半期別推移

(単位：人)



当第2四半期におけるセグメント別の受注及び販売の状況は次のとおりです。

① 受注実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期		2020年6月期		前年同四半期比	
	第2四半期		第2四半期		増減額	
	受注高	受注残高	受注高	受注残高	受注高	受注残高
連結会計関連事業	3,501	1,927	3,901	1,910	399	△17
ビジネス・ インテリジェンス事業	2,459	958	2,912	1,245	452	286
アウトソーシング事業	758	650	1,068	928	309	277
セグメント間取引消去	△317	△232	△304	△312	12	△80
合計	6,403	3,304	7,578	3,771	1,175	467

② 販売実績

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期		2020年6月期		前年同四半期比	
	第2四半期		第2四半期		増減額	増減率(%)
連結会計関連事業	4,008		4,165		156	3.9
ビジネス・ インテリジェンス事業	2,430		2,870		440	18.1
アウトソーシング事業	783		993		210	26.9
セグメント間取引消去	△288		△294		△6	—
合計	6,933		7,734		801	11.6

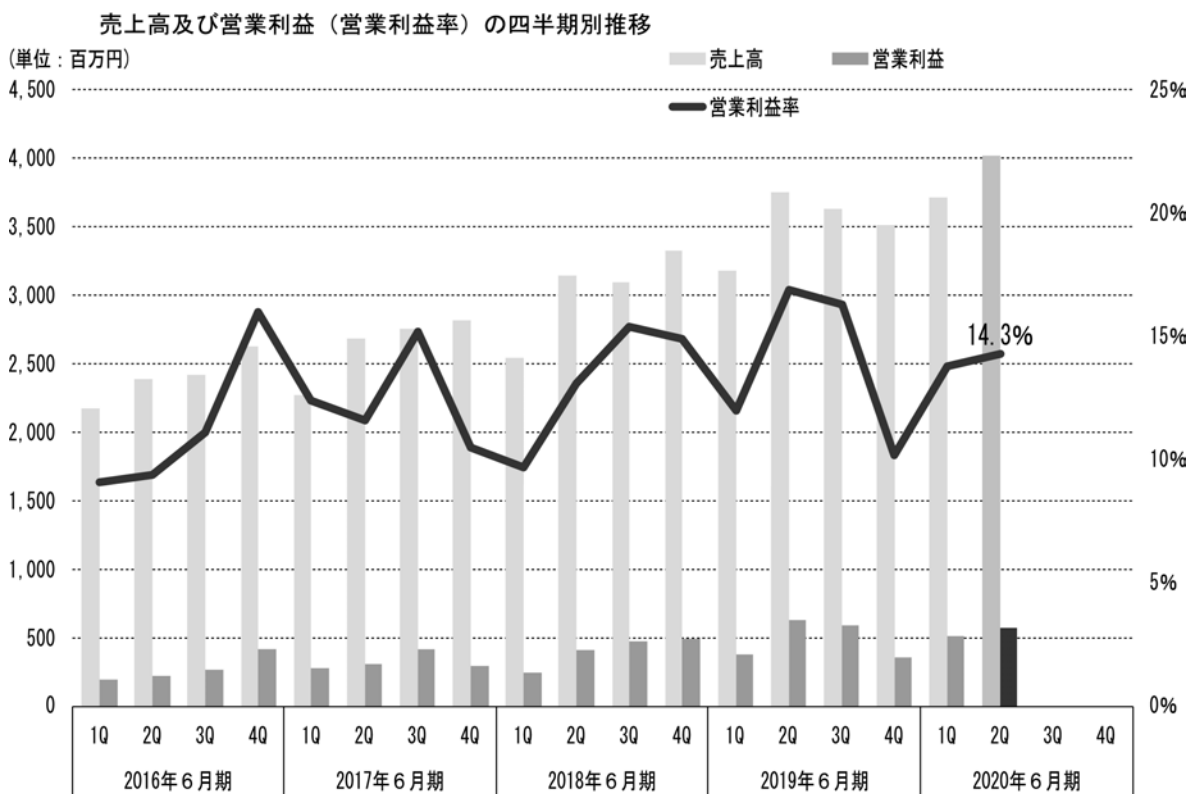
(注) 上記①、②の表の金額には、消費税等は含まれていません。

四半期毎の売上高及び営業利益の推移は次のとおりです。

直近4四半期の売上高及び営業利益

(単位:百万円 [単位未満切捨て])

	2019年6月期		2020年6月期	
	第3四半期	第4四半期	第1四半期	第2四半期
売上高	3,631	3,512	3,714	4,019
営業利益	592	358	514	574
営業利益率 (%)	16.3	10.2	13.8	14.3



(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期末の資産合計は、9,940百万円（前連結会計年度末比474百万円減）となりました。これは主に、賞与の支払いや法人税の納付を主な要因とした現金及び預金の減少513百万円などにより、流動資産が618百万円減少したことによるものです。

一方、負債合計は3,590百万円（前連結会計年度末比926百万円減）となりました。これは主に、未払法人税等の減少296百万円、前受収益の減少292百万円、賞与引当金の減少254百万円、役員賞与引当金の減少79百万円等によるものです。

また、純資産合計は親会社株主に帰属する四半期純利益673百万円の計上と剰余金の配当281百万円の支払いにより、6,350百万円（前連結会計年度末比452百万円増）となりました。この結果、自己資本比率は63.9%（前連結会計年度末は56.6%）と、前連結会計年度に比べ7.3%向上し、有利子負債もなく安定性の高い財務バランスを保っていると考えております。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ512百万円減少し、4,682百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果使用した資金は、13百万円となりました。（前年同四半期は219百万円の使用）

増加要因の主な内訳は、税金等調整前四半期純利益1,093百万円、売上債権の減少額124百万円であり、減少要因の主な内訳は、賞与引当金の減少額254百万円、前受収益の減少額292百万円、法人税等の支払額623百万円でありま

す。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、214百万円となりました。（前年同四半期は86百万円の使用）

支出の主な内訳は、オフィスの増床などによる有形固定資産の取得132百万円、ソフトウェアの増加に伴う無形固定資産の取得38百万円であります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、287百万円となりました。（前年同四半期は229百万円の使用）

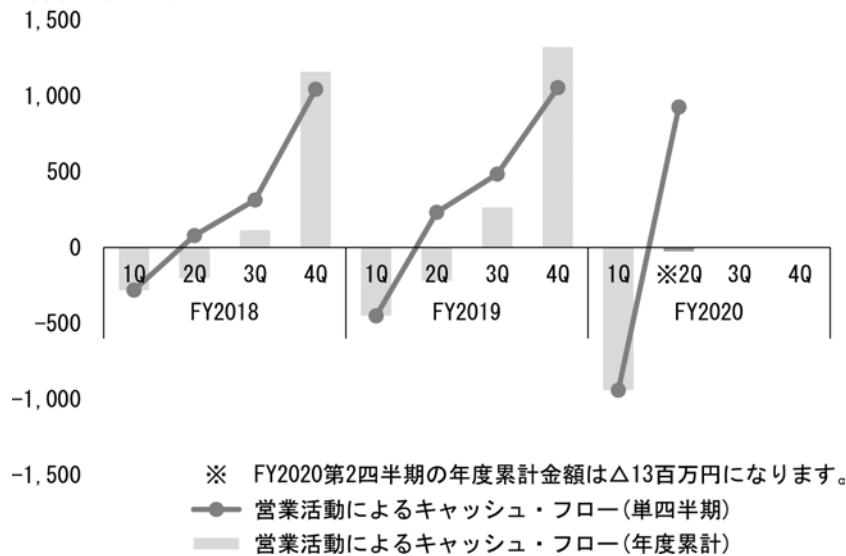
支出の主な内訳は、配当金の支払額281百万円であります。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスとなっておりますが、当社グループでは、法人税等の支払や役員への業績連動賞与の支給などによって第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは低廉となり、第2四半期以降に徐々に増加し、通期でみるとプラスとなるのが通例となっております。

連結会計関連事業における保守料やアウトソーシング事業の支払手数料については、役務の提供前に年間分が前払いされることから、元より運転資金が殆ど必要のないビジネスモデルとなっています。反面、ビジネス・インテリジェンス事業は外注費等の支払いが先行するため、売上げが伸びるに従って増加運転資金需要が発生することになりますが、グループ全体の現金保有高に加え、取引各行と総額35億円のコミットメントラインを設定しているところから、現状、資金繰りに懸念はありません。

営業活動によるキャッシュ・フローの四半期別推移

(単位：百万円)



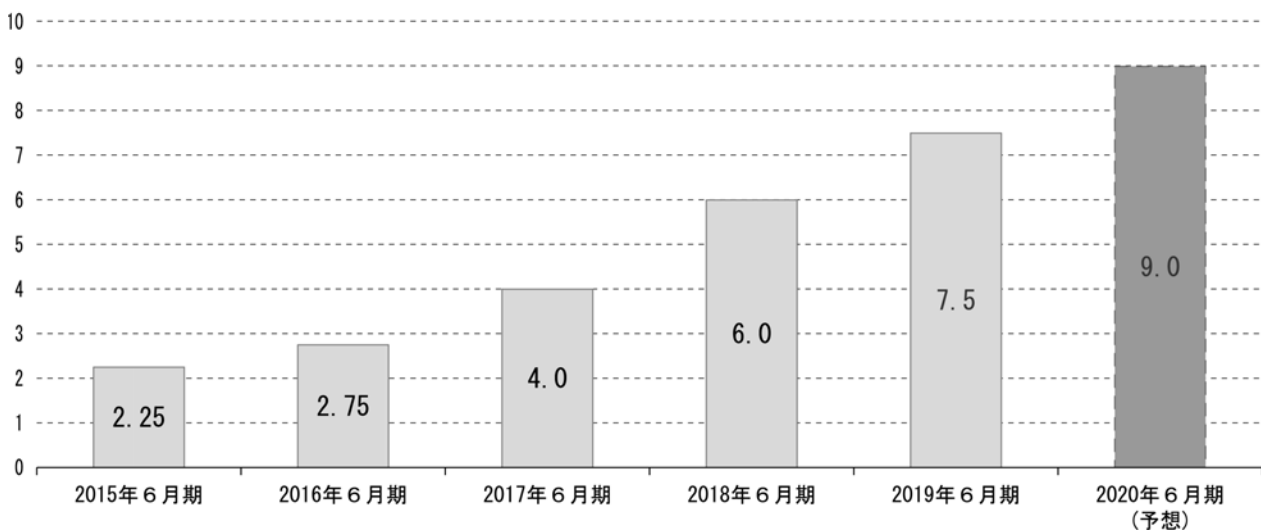
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社では2018年9月に中期経営計画として、2023年6月期までの5ヶ年計画（5年後の達成目標）を発表しました。その2年目となる2020年6月期は、既存3事業を持続的に成長させながら、当中期経営計画の重要な目標のひとつであるストック売上比率の飛躍的向上に向けた各種活動も推進してまいります。これらの結果として、売上高15,480百万円(前連結会計年度比10.0%増)及び営業利益2,165百万円(同10.1%増)の達成を予想しております。

なお、配当については従来の方針を堅持し、純資産配当率について、全上場企業の平均を常に上回ることを意識しながら引き上げて行く一方で、安定配当(原則、1株当たりの配当金が前期の水準を下回らないこと)を心掛けてまいります。当期の配当については同方針に則り1株当たり9円(2019年12月1日株式分割調整後)を予想しております。

配当金の推移(株式分割調整後)

(単位:円)



2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,160,507	4,647,368
受取手形及び売掛金	2,525,653	2,401,113
仕掛品	178,271	157,698
原材料及び貯蔵品	16,584	9,129
その他	522,747	571,116
貸倒引当金	△5,296	△6,260
流動資産合計	8,398,467	7,780,165
固定資産		
有形固定資産	277,096	455,134
無形固定資産		
ソフトウェア	164,304	158,104
その他	782	763
無形固定資産合計	165,087	158,868
投資その他の資産		
投資有価証券	397,868	472,498
敷金及び保証金	687,567	722,854
繰延税金資産	392,827	247,083
その他	105,906	104,285
貸倒引当金	△9,591	—
投資その他の資産合計	1,574,578	1,546,721
固定資産合計	2,016,762	2,160,724
資産合計	10,415,229	9,940,890

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	511,503	562,681
リース債務	3,515	4,933
未払金及び未払費用	377,355	350,258
未払法人税等	296,693	—
前受収益	1,857,288	1,564,892
賞与引当金	723,591	468,946
役員賞与引当金	138,778	59,376
受注損失引当金	60,058	613
その他	379,272	356,824
流動負債合計	4,348,056	3,368,527
固定負債		
リース債務	6,862	11,623
資産除去債務	162,262	210,687
固定負債合計	169,124	222,311
負債合計	4,517,181	3,590,838
純資産の部		
株主資本		
資本金	295,525	303,271
資本剰余金	232,325	240,071
利益剰余金	5,362,527	5,753,912
自己株式	△404	△404
株主資本合計	5,889,973	6,296,851
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	11,067	54,103
繰延ヘッジ損益	3	18
為替換算調整勘定	△2,995	△922
その他の包括利益累計額合計	8,075	53,199
純資産合計	5,898,048	6,350,051
負債純資産合計	10,415,229	9,940,890

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
売上高	6,933,351	7,734,551
売上原価	3,701,558	4,355,103
売上総利益	3,231,792	3,379,448
販売費及び一般管理費	2,216,697	2,290,405
営業利益	1,015,094	1,089,042
営業外収益		
受取利息	341	211
受取配当金	1,342	3,017
投資事業組合運用益	—	1,554
為替差益	700	152
助成金収入	—	1,890
その他	407	195
営業外収益合計	2,791	7,020
営業外費用		
支払利息	78	243
投資事業組合運用損	1,345	—
支払手数料	1,336	1,557
株式交付費	942	413
その他	120	—
営業外費用合計	3,823	2,214
経常利益	1,014,063	1,093,848
税金等調整前四半期純利益	1,014,063	1,093,848
法人税、住民税及び事業税	374,614	293,805
法人税等調整額	△1,676	126,902
法人税等合計	372,937	420,708
四半期純利益	641,125	673,140
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	641,125	673,140

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
四半期純利益	641,125	673,140
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△9,942	43,036
繰延ヘッジ損益	△6	15
為替換算調整勘定	532	2,073
その他の包括利益合計	△9,416	45,124
四半期包括利益	631,709	718,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	631,709	718,265
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2018年7月1日 至2018年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自2019年7月1日 至2019年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,014,063	1,093,848
減価償却費	76,015	89,341
株式報酬費用	1,187	3,666
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△8,627
賞与引当金の増減額(△は減少)	71,198	△254,644
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△90,268	△79,402
受注損失引当金の増減額(△は減少)	△4,310	△59,445
受取利息及び受取配当金	△1,684	△3,229
支払利息	78	243
支払手数料	1,336	1,557
株式交付費	942	413
投資事業組合運用損益(△は益)	1,345	△1,554
助成金収入	—	△1,890
売上債権の増減額(△は増加)	△423,357	124,551
たな卸資産の増減額(△は増加)	△103,492	28,027
仕入債務の増減額(△は減少)	70,072	51,177
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△43,876	△58,406
前受収益の増減額(△は減少)	△254,633	△292,395
その他	△23,415	△27,599
小計	291,175	605,633
利息及び配当金の受取額	1,774	3,307
利息の支払額	△78	△243
助成金の受取額	—	1,890
法人税等の支払額	△512,721	△623,886
その他	△120	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	△219,970	△13,297
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券の償還による収入	33,780	—
有形固定資産の取得による支出	△45,501	△132,764
無形固定資産の取得による支出	△20,586	△38,239
投資有価証券の取得による支出	—	△10,850
敷金及び保証金の差入による支出	△56,244	△35,286
敷金及び保証金の回収による収入	138	3,009
その他	1,999	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△86,415	△214,070
財務活動によるキャッシュ・フロー		
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△1,673	△2,541
支払手数料の支出	△1,878	△2,562
自己株式の取得による支出	△27	—
配当金の支払額	△225,295	△281,755
その他	△942	△413
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229,817	△287,272
現金及び現金同等物に係る換算差額	△84	2,427
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△536,288	△512,212
現金及び現金同等物の期首残高	4,566,875	5,195,137
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,030,587	4,682,924

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

前第2四半期連結累計期間(自2018年7月1日至2018年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	3,997,317	2,403,275	532,758	6,933,351
セグメント間の内部売上高又は振替高	11,083	27,020	250,382	288,486
計	4,008,401	2,430,295	783,140	7,221,837
セグメント利益	607,164	313,053	202,144	1,122,362

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,122,362
当社とセグメントとの取引消去額	346,799
全社費用(注)	△450,207
その他	△3,860
四半期連結損益計算書の営業利益	1,015,094

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

当第2四半期連結累計期間(自2019年7月1日至2019年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			合計
	連結会計関連事業	ビジネス・インテリジェンス事業	アウトソーシング事業	
売上高				
外部顧客への売上高	4,155,300	2,857,187	722,063	7,734,551
セグメント間の内部売上高又は振替高	9,906	13,360	271,457	294,725
計	4,165,206	2,870,548	993,521	8,029,277
セグメント利益	709,833	352,042	234,736	1,296,611

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,296,611
当社とセグメントとの取引消去額	343,119
全社費用(注)	△551,448
その他	759
四半期連結損益計算書の営業利益	1,089,042

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。